



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月9日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東
 コード番号 6425 URL http://www.universal-777.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富士本 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 根岸 良直 TEL 03-5530-3055
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	20,377	67.1	2,493	—	9,742	—	6,892	—
28年3月期第1四半期	12,197	△29.0	△791	—	△1,259	—	161	△77.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △3,692百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △3,832百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	93.92	93.92
28年3月期第1四半期	2.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	364,578	225,390	61.6	3,058.96
28年3月期	369,580	229,072	61.7	3,108.92

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 224,477百万円 28年3月期 228,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年3月期の配当予想は未定としております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,000	△20.3	1,100	△86.5	1,100	△78.6	1,000	△73.5	13.63
通期	110,000	19.9	16,800	△0.6	16,800	△24.8	9,200	△41.3	125.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	80,195,000株	28年3月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	6,811,232株	28年3月期	6,811,232株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	73,383,768株	28年3月期1Q	73,383,846株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(4) 追加情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成29年3月期 第1四半期累計	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
個別 (百万円)	20,350	3,652	6,796	4,688
連結 (百万円)	20,377	2,493	9,742	6,892

当第1四半期連結累計期間における売上高は20,377百万円（前年同期比 67.1%増）、営業利益は2,493百万円（前年同期 営業損失791百万円）、経常利益は9,742百万円（前年同期 経常損失1,259百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,892百万円（前年同期比 4170.5%増）となりました。

なお、事業セグメント別の業績は以下の通りであります。各業績数値はセグメント間売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。

① パチスロ・パチンコ事業

当第1四半期連結累計期間におけるパチスロ・パチンコ機の導入台数は約40,000台となり、パチスロ・パチンコ事業の売上高は19,606百万円（前年同期比 74.3%増）、営業利益は6,881百万円（前年同期比 163.3%増）となりました。

第1四半期においては、5月26日から27日に開催された「伊勢志摩サミット」による1か月間の遊技機入れ替えの自粛などもあり、パチスロ機『アステカ-太陽の紋章-』、『沖ドキ!パラダイス』の2タイトルの市場投入にとどまりました。

『アステカ-太陽の紋章-』は、従来の液晶演出に代わる映像表現としてプロジェクションマッピングを採用し、高性能マイクロプロジェクター及び3D描画エンジンとの双方向性を視野に入れた超高速広帯域画像処理モジュールの開発により、パチスロ筐体という小さな箱の中でリアルな物体とバーチャルな映像の融合を実現しました。この技術革新は、セキュリティ分野への応用やコストダウン化、リサイクル率の改善が見込めるものです。

② その他

当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は774百万円（前年同期比 18.3%減）、営業損失は1,237百万円（前年同期 営業損失1,181百万円）となりました。

メディアコンテンツ事業においては、パチスロ機『アステカ-太陽の紋章-』のシミュレーターアプリをApp Store、Google Play及び会員制モバイルサイト「ユニバ王国」にて配信いたしました。『アステカ-太陽の紋章-』はApp Store及びGoogle Playのランキングでも上位を維持し、好評をいただいております。

また、パチスロ機『ミリオンゴッド-神々の凱旋-』のシミュレーターアプリをドコモスマホ得及びauスマートパスにて配信を開始いたしました。

日本最大のパチンコ・パチスロ専門チャンネル「パチンコ★パチスロTV!」を運営する日本アミューズメント放送株式会社における放送事業においては、スカパー!の全体加入者数の減少に伴い売上が減少傾向にある中、J:COM加入件数の伸びや「パチテレ!NETプレミアム」等でカバーを行い、ほぼ目標通りの売上となっております。また、コンテンツ配信事業においても、昨年度開始したコンテンツの売上が伸びてきており、ほぼ目標通りの売上となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は100,449百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,193百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が7,027百万円減少したことによるものであります。固定資産は262,307百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,303百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が17,703百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、364,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,001百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は47,134百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,552百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が5,640百万円減少したことによるものであります。固定負債は92,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,232百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、139,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,320百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は225,390百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,681百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が10,533百万円減少したこと、及び利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は61.6%（前連結会計年度末は61.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① パチスロ・パチンコ事業

第2四半期においては、7月に“リバイバル”をテーマとした「A PROJECT」の第6弾となるパチスロ機『バーサス』、8月に人気格闘ゲーム「DEAD OR ALIVE 5」とのタイアップ機種「SLOTデッド オア アライブ5」を市場投入いたします。

また現在、2013年12月の導入以降、ユーザーやホールから高い評価を得ている『SLOT魔法少女まどか☆マギカ』の後継機『SLOT魔法少女まどか☆マギカ2』の販売を行っております。

パチンコ機においては、日本のCG・VFX制作の旗手として知られる「白組」によるオリジナルTVアニメ「えとたま」のタイアップ機種『CRえとたま』の販売を行っております。

今後も、パチスロ機と同様に、パチンコ機においても新タイトルの安定的な継続販売を行ってまいります。

② その他

メディアコンテンツ事業においては、引き続き、ユーザーへ高品質なシミュレーターアプリを提供できるよう研究開発を進めてまいります。また、会員制モバイルサイト「ユニバ王国」においては、アプリコンテンツ及び追加機能を続々投入し、今後もユーザーに長く遊んでいただけるサイト運営を行ってまいります。

日本最大のパチンコ・パチスロ専門チャンネル「パチンコ★パチスロTV!」を運営する日本アミューズメント放送株式会社においては、7月1日に自社サービスの「パチテレ! NETプレミアム」のコース内容の見直し並びに新コース追加等のリニューアルを行っており、これによりさらなる視聴者獲得を目指してまいります。また、既存の放送並びにコンテンツ配信の強化を行い、ユーザーにより一層お楽しみいただける番組制作を行ってまいります。

この度、当社グループがフィリピンで開発しているカジノリゾートプロジェクトの正式名称がOKADA MANILA®に決定しました。

現在、外装工事はほぼ完了し、ホテルタワーの内装工事が進行中であり、2016年11月下旬のソフトオープンに向けて着々と準備を進めております。

当施設は、カジノだけでなくラグジュアリーなホテルや世界最大級の噴水、高級レストラン、ショッピングモール等を備え、これまでのカジノの概念を覆す世界最高峰のカジノリゾートとして、お客様にお楽しみいただけることと確信しております。

③ 連結業績予想について

今後の為替相場の変動、販売の状況をふまえて、修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,280	45,076
受取手形及び売掛金	13,842	6,814
有価証券	14	13
商品及び製品	4,994	2,619
仕掛品	15,141	15,798
原材料及び貯蔵品	23,926	22,008
その他	9,450	8,124
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	119,643	100,449
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,330	7,252
建設仮勘定	117,158	134,828
その他	21,047	21,159
有形固定資産合計	145,536	163,240
無形固定資産		
その他	1,965	1,984
無形固定資産合計	1,965	1,984
投資その他の資産		
投資有価証券	61,376	58,351
長期預け金	6,999	6,698
関係会社長期預け金	30,034	28,408
その他	4,932	6,364
貸倒引当金	△2,840	△2,739
投資その他の資産合計	100,502	97,081
固定資産合計	248,004	262,307
繰延資産	1,932	1,821
資産合計	369,580	364,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,566	10,549
未払金	13,854	16,262
短期借入金	14,274	13,863
未払法人税等	6,020	380
賞与引当金	270	465
その他	4,699	5,611
流動負債合計	61,686	47,134
固定負債		
社債	70,588	64,609
長期借入金	-	17,272
その他	8,233	10,172
固定負債合計	78,821	92,053
負債合計	140,507	139,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	10,852	10,852
利益剰余金	217,673	224,565
自己株式	△14,296	△14,296
株主資本合計	214,326	221,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△577	△602
為替換算調整勘定	14,395	3,861
その他の包括利益累計額合計	13,817	3,259
新株予約権	73	83
非支配株主持分	854	828
純資産合計	229,072	225,390
負債純資産合計	369,580	364,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	12,197	20,377
売上原価	4,864	9,514
売上総利益	7,333	10,863
販売費及び一般管理費	8,124	8,369
営業利益又は営業損失(△)	△791	2,493
営業外収益		
受取利息	16	27
受取配当金	221	6
為替差益	43	7,225
持分法による投資利益	-	145
その他	13	51
営業外収益合計	293	7,456
営業外費用		
支払利息	253	83
支払手数料	0	53
持分法による投資損失	447	-
売上割引	9	21
その他	50	48
営業外費用合計	762	206
経常利益又は経常損失(△)	△1,259	9,742
特別利益		
固定資産売却益	-	0
子会社清算益	1,775	-
その他	9	-
特別利益合計	1,784	0
特別損失		
固定資産除却損	6	-
特別損失合計	6	-
税金等調整前四半期純利益	517	9,743
法人税、住民税及び事業税	△33	△111
法人税等調整額	466	2,988
法人税等合計	433	2,877
四半期純利益	84	6,866
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△76	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	161	6,892

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	84	6,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△24
為替換算調整勘定	△3,905	△10,533
その他の包括利益合計	△3,917	△10,558
四半期包括利益	△3,832	△3,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,755	△3,665
非支配株主に係る四半期包括利益	△76	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この償却方法の変更による影響は軽微であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(訴訟)

Wynn Resorts, Limited (NASDAQ: WYNN, 以下「ウィン・リゾート社」)との民事訴訟に関しては、現在ディスカバリー及び証言録取等の証拠開示手続き中であり、今後、トライアルにおいて証人尋問等を経て判決に至るといふ過程となります。なお、現時点において、トライアルは平成29年2月から開始される予定となっております。この判決結果により発生する可能性のある当社及び連結子会社等からなる企業集団の特定期間の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に与える影響を確実に見積もることが困難である事実を踏まえ、平成25年3月期連結会計年度末よりウィン・リゾート社株式を取得原価で評価しております。

ウィン・リゾート社が発行した長期受取手形に対する受取利息として、これまでに4年分(1年あたり38,728,852.63ドル)が裁判所の事務官宛てに、同事務官の信託口座への預け入れ用として発行されました。しかしながら、請求権の原則に基づいて当社グループに帰属しないと判断されることから当該小切手の受取利息を会計上も税務上も認識する必要はないこととなる可能性が高いと判断され、当社連結財務諸表には利息小切手発行に係る事実を反映させておりません。

なお、当社は、平成27年2月に、アルゼUSA等と共に、マカオ特別行政区第一審裁判所において、Wynn Resorts (Macau) S. A. 及びスティーブ・ウィン氏ら同社取締役4名を相手として、同社の解散及び約80億マカオパタカの損害賠償等を請求する民事訴訟を提起しており、現在当該訴訟が係属中です。

(借入費用の取得価額算入)

カジノリゾート事業に要した資金のうち、その建設資金を借入金及び社債(私募債)により調達している長期プロジェクトで、かつ、その金額が重要なものについては、建設期間中に対応する借入費用を取得価額に算入しております。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。